

図書館だより

図書委員会

平成二十九年読書画コンクール茨城県高等学校の部において、本校一年五組の加藤陽介さんが指定図書部門で優良賞、同じく一年五組の小林桃香さんが自由図書部門で優良賞、一年五組の中野龍也さんが自由図書部門で佳作に入賞しました。優良賞の加藤さんと小林さんの作品は県代表となり全国コンクールに出品されました。おめでとうございます。



指定図書部門 優良賞

「人はなぜ星を見上げるのか」

星と人をつなぐ仕事」

加藤 陽介

私は幼少期から星が好きだったのでこの本を題材にして描きたいと思いました。星に携わる人々の美しいドラマに感動したので、この作品では地球からあふれる人々の思いを大きな空にかざすことで表現しました。人はなぜ星を見上げるのか、それはどんな時も星が人と人とを結びつけるきっかけになるからだと思います。それが私がこの作品を描く上で最も伝えたかったことであり、最も苦労した点でもあります。



自由図書部門 佳作

「三日間の幸福」

中野 龍也

私は「三日間の幸福」という本を読んで自分自身の幸福の概念が変わり、この本が人生についての教科書のように感じました。自分なりの幸せや人生の考え方はありますが、この本に書かれている泥臭い幸福を知って作品の創作意欲がわきました。この感想画では、そんな私が感じた感動を表現できたと思います。この本にとっても衝撃を受けたので、是非たくさんの方に読んでほしいです。



自由図書部門 優良賞

「銀河鉄道の夜」

小林 桃香

銀河鉄道は、実は死者が乗る列車だと知っているカムパネルラと知らないジョバンニの物語です。何も知らずに列車に乗って喜んでいるジョバンニと対照に、どこか悲しい表情をしたカムパネルラが書かれた描写があります。私はその切ない二人の対比が好きなので、そのシーンを描こうと思いました。銀河鉄道を見て驚くジョバンニの喜びと興奮で溢れるような表情を描くことが難しかったところです。



「三日間の幸福」は購入予定です。それ以外は図書館にあります。

生徒図書委員中央研修会に参加して

三年七組 山本 明須香

私は去年の十二月に「生徒図書委員中央研修会」という茨城県の高等学校の図書委員が集まる研修会に参加しました。とてもすばらしい読書感想文の発表や茨城キリスト高校の図書委員の取り組みなど、とても勉強になる発表がたくさんありました。また、たくさんの高校の図書委員と交流できる分科会に参加して、本当にいろいろ勉強になる一日でした。

私がこの研修会に参加した理由はただ単に本が好きだったからです。実際に参加したら、たくさんの本やその本の魅力を知ることができるようになりました。実際に参加したら、たくさんの本やその本の魅力を知ることができるようになりました。実際に参加したら、たくさんの本やその本の魅力を知ることができるようになりました。

本を読むことは、国語の勉強になったり、種類によっては将来の夢に近づくことができるきっかけになります。この他にも本が人に与える「力」というのはたくさんあります。これらのことを研修会を通して知ることができました。「本なんか読まない」「本に興味はない。」と言う人もいるかもしれませんが、本を読んで悪いことはおきない、むしろ良いことしか身につかないと私は思います。



→一言カルタ

三年間を振り返って

私は一年から三年まで三年間図書委員をやってきました。一年の時は先生や先輩を頼ってばかりでした。二年で自ら進んで仕事ができるようになりました。そして三年。いくら三年目とはいえ委員長という大役をやる自信はありませんでした。しかし、何を思ったか自分で立候補し委員長に。カウンター当番、古本市に蔵書整理、どれも大変でしたが、他の委員の協力があって無事すべて終えることができました。三年間充実していました。ありがとうございました。

図書委員会委員長 三年四組 谷津 将義

図書室人気ベスト9

順位(回数)	タイトル	著者
1 (6)	i	西加奈子
1 (6)	魔法科高校生の劣等生 1	佐島勤
2 (4)	お菓子の基本	エコール社東京製菓研究室
2 (4)	蜜蜂と遠雷	恩田陸
2 (4)	発声と身体のレッスン	鴻上尚史
2 (4)	魔法科高校生の劣等生 7	佐島勤
2 (4)	魔法科高校の劣等性 2 0	佐島勤
2 (4)	花いくさ	鬼塚忠
2 (4)	Fate/Prototype 蒼銀のフラグメンツ/1	桜井光

ちよつとあなたの世界を広げて見ませんか

図書館で



↑本棚移動中

現在、図書館はレイアウト変更中です。アイディアのある人は是非図書館まで。